

1 章

1 解答 (4)

2 解答 (3)

*問題文が間違っております。誠に申し訳ございません。問題文はどちらも「誤っているのはどれですか」に修正いたします。間違いがありますことをお詫び申し上げます。

2 章

1 解答 (2)

2 解答 (2)

3 解答 (3)

3 章

1 解答 (5)

2 解答 (4)

3 解答 (1)

4 章

1 解答 (1)(2)

【解説】

(3) ソーシャルキャピタルを高める

(4) 企業との連携も考える

(5) 厚生労働省⇒農林水産省

2 解答 (1)(5)

【解説】

(2) 外食店への指導は保健所

(3) 母子保健指導は保健センター

(4) 保健センター

5 章

1 解答 (4)

2 解答 (3)

6 章

1 解答 (4)

2 解答 (1)

※問題文が間違っており、深くお詫び申し上げます。正しい文章は

「(1) 食事記録法では 24 時間思い出し法と比べ対象者の負担が大きい」となります。

7 章

- 1 解答 (1)ハイリスクアプローチ
(2)ハイリスクアプローチ
(3)ポピュレーションアプローチ
(4)ポピュレーションアプローチ
(5)ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ
- 2 解答 (1)

8 章

- 1 解答 (3)
【解説】
 - (1) 満 1 歳以上である (p.69).
 - (2) 11 月中の 1 日である (p.70).
 - (3) ○ (p.70)
 - (4) 栄養摂取状況調査, 身体状況調査, 生活習慣調査の 3 つである (p.70).
 - (5) 秤量法である (p.71).

9 章

- 1 解答 (5)
【解説】
 - (1) 30 代男性が最も高い (p.85・87).
 - (2) 高齢者だけでなく、子どもや単身世帯などでも起こり得る問題である (p.89).
 - (3) 減少傾向にある (p.80-81).
 - (4) 上昇している (p.86).
※食事摂取基準では PFC のエネルギー比率を「エネルギー産生栄養素バランス」と呼ぶが、食料需給表では「PFC 供給熱量比率」と呼んでいる。
 - (5) ○ (p.87-88)

- 2 解答 (5)

- 【解説】
- 1) 1970 (昭和 45) 年をピークに漸減傾向にある (p.80).
 - (2) どの年代も達していない (p.81).
 - (3) 10g を超えている (p.81).
 - (4) 減少傾向にある (p.80).
 - (5) ○ (p.80)

10 章

1 解答 (2)

【解説】

- (1) 約 10 年. 男性で約 9 年, 女性で約 12 年である (p.97).
- (2) ○ (p.99)
- (3) 2005 年から死亡数が出生数を上回る「自然減」の局面に入った (p.95).
- (4) 世界有数の長寿国である (p.96・98).
- (5) 高齢化社会から高齢社会へ, さらに超高齢社会に進行し上昇傾向にある (p.98).

2 解答 (1)

【解説】

- (1) ○ (p.102)
- (2) 生産年齢人口の方が多 (p.102).
- (3) 未だ第 3 次ベビーブームは起こっていない (p.101).
- (4) 2014 年時点では, 男性 80.50 年, 女性 86.83 年である (p.96).
- (5) 最も大きいのは悪性新生物である (11.4%). 高血圧性疾患は 2 番目に大きい (6.9%) (p.100).

11 章

1 解答 (4)

【解説】

- (1) WHO ではなく FAO の作成手引きに準拠している (p.110).
- (2) 調理による損失分や食べ残しによる廃棄分 (ロス) を含む指標であり, 実際に摂取された食料の数量および栄養量ではない (p.111).
- (3) 考慮している (p.110).
- (4) ○ (p.112)
- (5) 純食料は粗食料に歩留りを乗じたものである (p.111).

2 解答 (2)

【解説】

- (1) 現在 68% である. カロリーベースの食料自給率が 38% である (p.111).
- (2) ○ (p.111)
- (3) フード・アクション・ニッポンを推進している (p.113).
- (4) パターン A~D の 4 つである (p.114).
- (5) 80% である (p.112).

12 章

1 解答 (1)(4)

【解説】

- (2) 食品表示法→健康増進法
- (3) 健康増進法→高齢者の医療の確保に関する法律
- (5) 業務独占→名称独占

2 解答 (2)(3)(4)(5)

【解説】

(1) 都道府県は義務規定

13 章

1 解答 (1)(2)(4)

【解説】

(3) 平均寿命→健康寿命

(5) 食塩や脂肪の低減に取り組む企業や飲食店の増加が目標

2 解答 (2)(3)

【解説】

(1) 第3次→第4次国民健康づくり対策

(4) 働き盛り→高齢者

(5) 食育推進基本計画→健康日本 21

14 章

1 解答 (2)(3)(5)

2 解答 (3)(4)

【解説】

(1) 2200±200kcal

(2) たんぱく質約6g

(3) 厚生労働省と農林水産省

15 章

1 解答 (2)

【解説】

(1) 開発途上国にも肥満の問題は存在し、低栄養との栄養の二重負荷を抱えることも多い (p.148).

(2) ○ (p.150)

(3) ビタミンCではなく、ビタミンAである (p.149).

(4) クワシオルコルという (p.149).

(5) WHOではなくFAOである (p.154).

2 解答 (4)

【解説】

(1) 国際連合食糧農業機関 (FAO) に関する説明である (p.154).

(2) 西太平洋地域に所属している (p.152).

(3) オタワ憲章である (p.153).

(4) ○ (p.154)

(5) ジュネーブにある (p.152).